



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池原 賢二 TEL 03-3777-5101
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,173	25.4	1,079	31.7	1,106	31.2	788	33.0
2022年3月期第2四半期	5,721	21.0	819	61.1	843	50.6	592	44.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,108百万円 (81.2%) 2022年3月期第2四半期 611百万円 (54.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	329.32	—
2022年3月期第2四半期	247.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,814	13,246	72.8
2022年3月期	17,038	12,284	70.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,964百万円 2022年3月期 11,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	41.00	—	60.00	101.00
2023年3月期	—	46.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	60.00	106.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	2.4	1,600	△11.7	1,600	△5.7	1,100	△5.8	459.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,400,000株	2022年3月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,975株	2022年3月期	5,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,394,058株	2022年3月期2Q	2,394,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国における実質GDPは、個人消費の伸びは加速しましたが、住宅投資は大幅なマイナス、民間設備投資の伸びが大幅に鈍化するなど、FRBによる金融引き締めが民間需要を低下させたことが鮮明となりました。

欧州においては、実質GDPは前期比でプラス成長となり、経済活動の面ではほぼコロナ禍を克服している状況にありますが、ロシアのウクライナ侵攻を受けた欧州の「脱ロシア」の動きやロシアによる資源供給を利用した経済的な揺さぶりが欧州景気の減速感となりました。

中国をはじめとする新興国経済は、中国においては、新型コロナウイルスの感染拡大で、上海市が事実上のロックダウンに追い込まれたことなどから経済活動に支障をきたし、一時は成長率を大きく押し下げましたが、後半は、新型コロナウイルス感染症は沈静化までは至らなかったものの、前半に比べると落ち着いていたため、経済活動はゆっくりと正常化してきております。

一方、日本経済においては、鉱工業生産は、供給制約の影響で弱い動きとなっていたものの、中国のロックダウンの解除を受けて、自動車を中心に持ち直してきており、また、個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、対面型サービスを中心に回復してきており、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門の売上は低調な推移となりましたが、インダストリアル部門では、当社の主力製品でありますダイヤフラムポンプを中心に好調な推移となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は7,173百万円（前年同期比1,452百万円、25.4%増）となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,652百万円（前年同期比△28百万円、1.7%減）、インダストリアル部門は4,729百万円（前年同期比1,366百万円、40.6%増）となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は791百万円（前年同期比113百万円、16.8%増）となりました。

利益面では、売上総利益は3,032百万円（前年同期比594百万円、24.4%増）となり、営業利益は1,079百万円（前年同期比259百万円、31.7%増）、経常利益は1,106百万円（前年同期比262百万円、31.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は788百万円（前年同期比195百万円、33.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は3,046百万円（前年同期比55百万円、1.9%増）、営業利益は511百万円（前年同期比△130百万円、20.3%減）となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,724百万円（前年同期比969百万円、55.2%増）、営業利益は369百万円（前年同期比201百万円、119.8%増）となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は600百万円（前年同期比52百万円、9.7%増）、営業利益は16百万円（前年同期比△21百万円、56.8%減）となりました。中国における外部顧客に対する売上高は644百万円（前年同期比335百万円、108.4%増）、営業利益は74百万円（前年同期比47百万円、175.0%増）となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は157百万円（前年同期比39百万円、33.4%増）、営業利益は33百万円（前年同期比19百万円、139.6%増）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は4,310百万円（前年同期比1,384百万円、47.3%増）で、その割合は60.1%（前年同期51.1%、9.0ポイント増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は17,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加(730百万円)等によるものであります。

負債合計は4,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定を含めた長期借入金の減少(△87百万円)、未払法人税等の減少(△74百万円)等によるものであります。

純資産合計は13,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ962百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(644百万円)、為替換算調整勘定の増加(358百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ730百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,057百万円の純収入(前年同期は706百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,105百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは144百万円の純支出(前年同期は85百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による150百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは242百万円の純支出(前年同期は339百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による87百万円、配当金の支払による143百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2022年11月4日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,096	4,279,593
受取手形、売掛金及び契約資産	1,740,909	1,768,492
電子記録債権	183,374	257,153
商品及び製品	2,137,406	2,212,639
仕掛品	527,107	664,644
原材料及び貯蔵品	633,231	750,565
その他	580,501	177,745
貸倒引当金	△7,473	△8,791
流動資産合計	9,344,152	10,102,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,193,616	5,201,901
土地	1,198,516	1,210,707
建設仮勘定	105,970	100,743
その他(純額)	496,194	491,092
有形固定資産合計	6,994,297	7,004,444
無形固定資産	159,329	158,334
投資その他の資産	540,901	550,095
固定資産合計	7,694,529	7,712,874
資産合計	17,038,682	17,814,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,430,726	1,414,721
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	227,128	306,814
未払法人税等	320,530	246,170
返金負債	4,551	4,435
製品保証引当金	10,035	10,522
賞与引当金	178,027	181,748
未払費用	237,700	245,884
その他	229,063	199,583
流動負債合計	2,717,763	2,689,879
固定負債		
長期借入金	1,556,378	1,389,690
繰延税金負債	170,076	171,472
退職給付に係る負債	192,586	203,296
役員退職慰労引当金	49,499	50,299
資産除去債務	15,471	15,471
長期未払金	32,270	30,020
その他	20,621	18,175
固定負債合計	2,036,902	1,878,425
負債合計	4,754,665	4,568,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	11,020,615	11,665,385
自己株式	△7,205	△7,303
株主資本合計	11,671,597	12,316,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,273	39,233
繰延ヘッジ損益	—	△25,799
為替換算調整勘定	276,073	634,523
その他の包括利益累計額合計	321,346	647,957
非支配株主持分	291,072	282,385
純資産合計	12,284,016	13,246,612
負債純資産合計	17,038,682	17,814,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,721,456	7,173,744
売上原価	3,283,375	4,141,316
売上総利益	2,438,081	3,032,428
販売費及び一般管理費	1,618,295	1,952,924
営業利益	819,785	1,079,504
営業外収益		
受取利息	527	1,279
受取配当金	5,339	5,692
補助金収入	6,060	300
負ののれん償却額	2,445	2,445
不動産賃貸料	15,253	14,874
その他	5,419	12,845
営業外収益合計	35,046	37,437
営業外費用		
支払利息	2,447	1,338
減価償却費	1,743	1,717
為替差損	6,620	6,928
その他	354	446
営業外費用合計	11,164	10,430
経常利益	843,667	1,106,511
特別利益		
固定資産売却益	147	163
投資有価証券売却益	6,045	—
特別利益合計	6,192	163
特別損失		
固定資産処分損	3,502	1,551
特別損失合計	3,502	1,551
税金等調整前四半期純利益	846,357	1,105,123
法人税、住民税及び事業税	271,382	322,404
法人税等調整額	△25,054	973
法人税等合計	246,327	323,378
四半期純利益	600,029	781,745
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,391	△6,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	592,638	788,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	600,029	781,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,973	△6,039
繰延ヘッジ損益	—	△25,799
為替換算調整勘定	15,733	358,450
その他の包括利益合計	11,759	326,611
四半期包括利益	611,789	1,108,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,398	1,115,024
非支配株主に係る四半期包括利益	7,391	△6,668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	846,357	1,105,123
減価償却費	139,289	249,861
負ののれん償却額	△2,445	△2,445
固定資産売却損益 (△は益)	3,354	1,387
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,045	—
受取利息及び受取配当金	△5,867	△6,972
補助金収入	△6,060	△300
支払利息	2,447	1,338
売上債権の増減額 (△は増加)	13,105	△7,723
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△338,264	△118,972
仕入債務の増減額 (△は減少)	345,364	△117,649
その他	△56,013	341,309
小計	935,222	1,444,957
利息及び配当金の受取額	5,867	6,972
利息の支払額	△2,444	△1,344
補助金の受取額	6,060	300
法人税等の支払額	△238,250	△393,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	706,454	1,057,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,641	△150,723
有形固定資産の売却による収入	287	969
無形固定資産の取得による支出	△2,516	△12,100
投資有価証券の売却による収入	8,459	—
投資不動産の賃貸による収入	15,253	14,874
その他	△217	2,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,373	△144,433
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	80,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△80,000
長期借入金の返済による支出	△195,686	△87,002
配当金の支払額	△131,498	△143,041
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,018
その他	△12,420	△10,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,605	△242,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,624	59,517
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	286,100	730,497
現金及び現金同等物の期首残高	4,202,429	3,549,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,488,530	4,279,593

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	1,638,572	—	16,046	10,514	15,339	1,680,473
インダストリアル	744,118	1,755,765	531,611	252,405	79,630	3,363,531
その他	607,938	—	—	46,415	23,098	677,451
顧客との契約から生じる収益	2,990,629	1,755,765	547,657	309,335	118,068	5,721,456
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,990,629	1,755,765	547,657	309,335	118,068	5,721,456
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,459,972	65,636	8,613	—	—	1,534,222
計	4,450,601	1,821,402	556,271	309,335	118,068	7,255,678
セグメント利益	641,963	168,036	37,194	27,276	13,986	888,459

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	888,459
セグメント間取引消去	14,993
棚卸資産の調整額	△83,667
四半期連結損益計算書の営業利益	819,785

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	1,590,572	—	27,412	10,976	23,420	1,652,381
インダストリアル	766,846	2,724,918	573,179	561,110	103,905	4,729,961
その他	688,780	—	—	72,425	30,196	791,401
顧客との契約から生じる収益	3,046,199	2,724,918	600,591	644,512	157,522	7,173,744
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,046,199	2,724,918	600,591	644,512	157,522	7,173,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,862,131	52,729	11,339	—	—	1,926,200
計	4,908,331	2,777,647	611,931	644,512	157,522	9,099,945
セグメント利益	511,418	369,391	16,059	74,998	33,518	1,005,386

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,005,386
セグメント間取引消去	129,574
棚卸資産の調整額	△55,456
四半期連結損益計算書の営業利益	1,079,504